

-第 5 回 高遠町地域協議会会議録

開催 日	令和8年3月12日（木）					
開催 時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時39分
開催 場所	高遠町総合支所会議室					
委員の出欠 出席 14 名 欠席 3 名	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	伊藤 茂		11	澤 広行	
	2	西村 則義		12	山崎 恭子	
	3	北原 直		13	伊藤 幸子	
	4	北原 康弘		14	岡部 功治	
	5	藤澤 尚弘	欠	15	伊藤 俊成	
	6	西村 博		16	伊東 基博	欠
	7	伊藤 彩	欠	17	井出 順徳	
	8	西野 かおる				
	9	赤羽 幸子				
	10	北原 誠				
署名委員	2 番	西村 則義		3 番	北原 直	
委員以外 の出席者 出席 9 名	高遠町総合支所長 清水 俊一郎、同総務課長 山下 隆、 同総務課長補佐（総務係長） 北原 善昭、同総務課総務係（主査） 北村 ユミ 市民生活課長 井上 智絵、高遠商工観光課長 兼子 美信、 企画政策課企画政策係（主査） 田中 元喜 伊那市議会議員 宮原 英幸、伊藤 のり子					
会議事項	協議事項 （ア）路線バスの運行路線の一部変更について （イ）委員提案 高遠町老人福祉センターについて 報告事項 （ア）高遠城址公園さくら祭りの概要について （イ）伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況の評価について （ウ）塩供コンテナトイレ設置の進捗状況及び今後の予定について （エ）その他 その他 （ア）伊那市高遠町協働のまちづくり交付金事業の募集について （イ）その他					
会議提出資料	1 令和8年度～藤澤線の変更内容 【資料 1】 2 高遠町地域協議会委員からの提案 「高遠町老人福祉センターについて」 【資料 2】 3 高遠城址公園さくら祭りの概要 【資料 3】 4 伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況について 【資料 4】 5 塩供コンテナトイレ設置の進捗状況及び今後の予定について 【資料 5】 6 伊那市高遠町協働のまちづくり交付金事業の募集について 【資料 6】					

進行 北原副会長

1 開会（午後 6 時 30 分） 北原副会長

2 あいさつ 西村会長／伊藤副市長

- ・欠席委員の報告 16 番 伊東 基博 委員
- ・会議録署名委員 2 番 西村 則義 委員、3 番 北原 直 委員

3 協議事項 進行 西村会長

（ア）路線バスの運行路線の一部変更について

【説明：企画政策課 主査】

令和 8 年度、高遠地区内を走る藤沢線と長谷線のバス 2 路線の変更内容について、一つ目は 249 便について、コロナ禍以降、高遠さくらの湯は午前中の営業を行っておらず現在も午前中にバスが回っているが利用がないこと、さくらの湯の午前営業が当面再開の見込みがないため、午前中はさくらの湯を経由しないという内容である。

2 つ目は長谷線について、令和 7 年度の利用状況をみると西箕輪線以外は利用者が減少しており、長谷線は 1,843 人と一番減少が大きい。朝夕の通学の時間を除いた昼間の時間帯はぐるっとタクシーに移行しているため、長谷線の朝の利用は小学生の通学利用となっている。生徒数が減ると利用者数が減るという状況にある。昨年からは保護者ができるだけ歩かせたいという方針で、バスに乗らない状況となっており、観光面で仙流荘に向かう利用者也使えるようなダイヤの見直しを行いたい。また、城址公園の右の方から入ってきたバスが、高遠高校前の停留所を過ぎて右折して坂を下るが、この路線には高遠小学校入り口と伊那小原という 2 つのバス停がある。高遠小学校入口の乗降者はなく、伊那小原では降車する方はいるが、近くに食彩館いろは堂薬局前というバス停がある。この停留所の間は短く、相生、小原下は幅員の狭い通学路であり、普通車でも交互通行が難しいところである。また高遠高校前から下る坂道も積雪、凍結によりバスが通れない日が発生したこともあり、ここの部分は見直しを行い、高遠から来たバスは相生、小原下を経由することなくそのまま直進して食彩館いろは堂薬局で乗降してから長谷へ向かう形に見直しを行いたい。

（議員）ルートが変わることにより時刻表は変わるのか。

（主査）乗降がほとんどないところのため 2～3 分早まる。

（委員）総合支所にバスが寄るのは必要ないか。

（主査）昼間利用される方はほとんどぐるっとタクシーを使うので考えていない。

（イ）委員提案 高遠町老人福祉センターについて

本日欠席の委員から提案いただいている。回答をいただいた市民福祉課から説明をお願いしたい。

総務課長が提案内容の説明を行う。長藤区会に老人福祉センター廃止について説明があったが、長藤地区としては廃止は絶対に反対であるので、高遠町地域協議会の場合でも表明してほしいとの内容である。

①高遠町老人福祉センターは長藤区会の公民館、農林関係団体、育成会、婦人会等の会議や活動の場所としては唯一であり貴重であること。

②会議等は他団体と重複した場合は娛樂室を使用している。

③集会室（体育館）はスポーツや音楽、文化祭などではステージ発表の場となり長藤区民が集う貴重な場である。伊那や高遠町の団体も使用している。

④調理室は食事の提供や料理研究の場となっている。

⑤長藤公民館分館主催の区民の集いでは老若男女、移住者が一同に集い住民の福祉や交流に役立っている。

⑥老朽化が理由であれば修繕や新築等を検討してほしい。

との内容である。続いて担当課の回答を説明させていただく。

(市民福祉課長) 老人の健康増進及び福祉の向上を目的として昭和55年に建設され、築45年を経過し建物全体の老朽化が進んでいる。また耐震化が未実施であること、照明のLED化、エアコンの設置もないため施設の安全性と快適性を確保するためには大規模な改修が必要となる。現在は集会施設としての利用がほとんどであり、老人福祉施設としての役割は終えていること、委員が要望されている施設を維持するための修繕や新築には相当額の費用が見込まれることから、市では施設閉鎖の検討を進めている。閉鎖後の建物の取り壊しについては市の財政状況等により検討していく予定である。一方、地区の皆さんの集う場としては、現在第2・3保育園の仮園舎として使用している高齢者生きがいセンターを、地区分館の拠点及び集会施設として存続させる可能性を検討しており、現在、長藤地区の意向を確認しながら協議を進めているところである。

(委員) 高遠町の老人福祉施設ということでこれまできていて、その上で考えると長藤区だけが使うというのは適當ではない気がする。例えばこの施設が老人福祉施設ではなくて集会施設に変換できないかということが1点と、高齢者生きがいセンターは見学させていただいたが、あくまで会議室の用途でのみ使用できる施設で、集会など多目的な用途で生きがいセンターを使用することはできなくなる。長藤には集会施設がなくなることになるが、その2点について質問させてもらう。

(市民福祉課長) 老人福祉センターを集会施設に変更ということについては、建物自体がとても大きく維持管理に非常にお金がかかっていること、また集会施設としての位置づけではないこともあり、集会施設として市で管理していくことは考えていない。

生きがいセンターについては、確かに建物自体は大きなものではないが、他の施設の様子を聞く中で色々な工夫をしながら集会をしていただく形を検討できないかということで話を進めさせていただいている。

(委員) 生きがいセンターの方は、多少改修してただけるようだが、もう少し大がかりな改修の可能性はあるのか。長藤区からそのような要望が出てくる可能性もあると思うが。

(総合支所長) 区民の皆さん全員が集まるスペースは生きがいセンターでは難しいと考える。容量的にも物理的にも無理な状況であり、それを例えば全員入れるように改修できるかということとそこまでは現在は考えていない。過去からの利用状況等を見る中で、生きがいセンターでの対応ができるのではないかとすることで判断をさせていただいている。基本的なところで申し上げると伊那市全体で公共施設がいくつもある。この施設を市民1人あたりで面積割すると長野県でも多い方の自治体である。5㎡/人で県下でも4番目に多い街であり、市としては今後を考えると老朽化している施設については段々に整理も必要であるし、市民への負担も縮小していきたいということで、施設の管理計画というものを作って見直しをかけてきている。同じ福祉施設だと今年度末で春富ふくじゅ園が閉鎖ということで、長藤老人センターについても今後10年くらいで閉鎖ということで進めてさせていただいている状況。改修もできない訳ではないが、非常に年数も経過している施設であるので改修には相当額を投資しなければならず、今後のことを考えると果たしてその投資が適正かという疑問も出てくるのではないか。そのあたりを含め令和8年度にかけて長藤区と協議を進めていく考えである。大きく改修ができるかという質問に対しては正確にはお答えできない状況だが、非常に難易度が高い内容と感じている。

(委員) 改修は、どのくらいお金がかかるのか。例えばLEDやエアコンの設置といった快適性を二の次にしたとして、耐震化、安全性の担保の工事がいくくらいか。無くす方向ではなく、残して

いくにはどうなれば残していく方針に切り替わるのか具体例があれば教えてほしい。長藤、藤澤、高遠の利用者や住民の中で協力を得られたり、残していく方針として向かっていくんだという方向転換ができるのではと思えるような何か具体例などあれば教えてほしい。

(総合支所長) まだ耐震診断もされていない施設であり、診断するのに業者をお願いすることになる。そこから耐震工事にいくらかかるか設計を委託して工事をしてという試算はできていない。古い施設なのでアスベストも使われている。そういった部分も改修する必要がある。骨だけ残って全てやり直すような想定がされる。建替えるくらいのお金がかかるのではないかということと、毎年、伊那建設事務所で公的な検査がされているが、屋根の状態や壁にクラックが入っている等、各所指摘されている状況である。LEDやエアコン設置よりも躯体をどうするかということからになる。修繕するのに国や県の補助金は全くない。やるとなると皆さんの税金を使わないといけない。

(会長) お答えのあったような状況である。まず高遠町老人センターとしての存続は難しいのではない。地元へ払い下げるのか下げないのかということから始まる。地元へ払い下げた場合は何に使うのかということになり、地元負担金はどうなるのか、こんなことも区の中で自分達の施設として管理していくのなら何ができるのか、まずは区としての姿勢を示すことが大事だと思うし、突飛なことを考えても駄目だろうが、老人福祉センターが駄目なら未来志向で文化センターみたいなものを作ったりとか、道の駅にできそうだとか、色々なことを考えてしまうのだが、そういった方向転換なりができて補助金が付くような形が見つかればよいが、今の段階だと心配なのは耐震構造でないため、昔、伊那の体育館の屋根が落ちた時のようになっては困るということだと思う。特に中央構造線の真上にある建物なので、そんな心配もあることから総合的に話し合われて今後の方向性が決まってくるのだろうと感じた。まだ議論をしてもらうことが必要と思う。地域協議会として何か結論を表明するとか、そういうことには到底いかない気がする。

(議員) 老人福祉センターを残すこと自体は大きさからしても無理だと思う。生きがいセンターも老人センターより1年前に建った建物で、しかも耐震化もできていない。老人福祉センターを壊した時に生きがいセンターにもう少し手を入れていただいて、そこで集会ができればよいと個人的に思っている。長藤地区の皆さんが集まる場所が他にない。そこをやはり考えてやらないといけないと思う。まだ区会の結論が出ていないのでそれを確認してから地域協議会として協議をお願いしたいと思う。

(議員) 伊那市全体の中で公共施設を統廃合していこうという大きな方針があることは十分承知しているが、こういう公共施設はやはり地区の住民の意見とか、懇切丁寧な話のステップが絶対的に必要だと思う。それが我々も今日唐突に聞いている人たちがほとんどで、そこで協議しろというのは無理である。委員は地元だから話はそのとおりであるが、以前から将来的に残してほしいという副会長が区長の時だったかそういう要望も市へ出ていると思うが、きちんとステップを踏んでやっていくようにしないと、まして協議会で協議できる状況では全然ないので、市の説明でも数値的なこともわからない、スケジュールもわからない中で、こういう提案があるので一番使う長藤区民の意見のある程度集約していただきながら、何らかの方向、あるいは全体に残すのか部分的に残すのか、これからの利用の方向もしっかり探ってやっていくようにしないと、この状況で議論するということはとても難しいと思う。今後、市の公共施設の統廃合も是非そういうことを考えながらある程度時間をかけながらやっていかないといけないと思う。

(総合支所長) 議員おっしゃるとおりこの話が副会長が区長の時から2度くらい地元へ話を下ろして話をしてくれているが、それから後の話が全く進んでいない状況であった。昨年秋くらいから地元区へ話をして説明に入ってきた状況であるが、長藤区との話がようやく始まった状況である

ため、今後も長藤区会と話し合いを重ねたうえで、協議会で報告なりをさせていただきたいと考えている。

4 報告事項

(ア) 高遠城址公園さくらまつりの概要について（高遠商工観光課 課長）

公園開き式 3月18日（水）安全祈願祭

まつり期間 開花宣言から散り終わりまで

開花予想 昨日発表の日本気象協会では4月2日開花、8日満開、ウェザーニュース社では4月3日開花、9日満開の予想

開園時間 午前8時から午後5時を基本とし、最盛期は午前6時から午後9時までとし、そのほかの時間については閉園ということでゲートを閉める。

イベント ライトアップは3分咲きから落花盛んまで、午後6時から点灯し、午後10時まで

交通対策 市報3月号に合わせて高遠地区には交通規制図を全戸配布済み

シャトルバス 満開前後の9日間程度の予定。中学校からループ橋上、市役所から白山橋の2路線
市役所路線は最盛期の土・日、循環バスは3分咲きから散り始めまでの間運行

入園料 今年改定あり。特定日の個人大人の入園料のみ1,000円とする。目的は昨年4月12日（土）にお客様が集中して交通渋滞を招いた。満開の週末にお客様が集中する傾向にある。平日に来ることができる方はできるだけ平日に来てもらえるように、週末については1,000円に値上げをさせていただく。様々な駐車場対策を行っているが、これ以上の対策が難しい中で今回変動価格を導入させていただく。市民は無料で入場いただける。

入園デジタル化 昨年デジタルチケットを試験的に導入した。スマートフォンなどで事前に入園券を購入できる仕組み。昨年も導入したが、入園口でQRコードを確認して通常の入園券と引き換えていたため、券を渡すという時間ができてしまっていたが、今年はQRコードがそのまま入園券として使えるようになる。併せて窓口販売の券にもQRコードを付けて、今までは入園券の日付を目視で確認していたが、QR読み取りで確実に確認できるようになる。

イベント情報 資料記載のとおり

各区、地域住民の皆様、小中学校、育成会等の関係各所、様々な面でご協力、またはご迷惑をおかけすることがあるかもしれないが、無事にさくら祭りが運営できるようご協力、ご理解をお願いしたい。
（委員）入園料の特定日というのはどのくらいのタイミングで決定されるのか。

（高遠商工観光課長）できるだけ早く設定したいと考えているが、毎週気象会社から開花予想日が出るので、できれば来週か再来週には確定して早めのご案内をしていきたい。

(イ) 伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況について（総務課 課長補佐）

企画政策課より資料をいただいている。

1 概要については（2）（3）に記載のとおり、旧高遠町及び長谷村の区域において、令和3年度から令和7年度までの5年間、国が対象経費の最大7割を負担してくれる過疎対策事業債を活用して、（4）に掲げる事業を実施できるというもの。（5）本計画で策定している達成目標で（4）に掲げる事業を実施して、令和7年度末の高遠町地区の人口を4,810人以上確保したいというものである。

2 令和6年度実績について1の評価方法として、本計画では人口推移の目標を設定し、評価することとしている。前年度末人口の実績値を基に現状を地域協議会に報告するものである。(2)実績値地区別の人口をご覧いただき高遠町地区における地区別人口の令和6年度実績値は令和7年4月1日時点で4,898人だったので、令和6年4月1日時点の実績値5,079人から3.6%181人減少している。同じ減少率で人口が推移していった場合の今年度末の人口は4,723人となるため、先ほどの目標値の4,810人を下回り、目標が達成できない見込みとなっている。市としては昨年度から高遠第2・3保育園の建設を開始し、今月末に完成を見込んでいる。園舎完成により特化型やま保育に認定されていることで子育て世代の移住などが期待できると考えており、今後も引き続き計画に基づいた充実した過疎対策に取り組んでいく。3ページは令和6年度の事業実績を掲載しているので参考にご覧いただきたい。なおこちらの表の金額は高遠・長谷地区を合わせた全体金額になっている。

(委員) この地に魅力を感じて引越してきたい人、ここで子育てをしたい人、ここで年老いていきたい人が少し滞在して体験できる施設があるといい。高遠小学校の近くに移住体験住宅が2棟あるがすぐに予約一杯になってしまう。既に暮らしている人と話ができるスペースを確保して、メリットやデメリットの具体的な話を聞けるスペースの確保を事業として入れていただけたらと願う。

(会長) 移住者相談窓口のようなものは開設されているわけである。疑似体験というか滞在型検討期間みたいなものがあるとよい。1ヶ月ほど住んでみるとか。そういう提案は今までなかったか。

(総合支所長) 新山にはある。

(会長) 過疎計画は次の5年間に対する検討期間に入っていると思うので参考に検討をお願いしたい。

(ウ) 塩供コンテナトイレ設置の進捗状況及び今後の予定について(総務課 課長補佐)

令和7年9月30日開催の地域協議会において説明を行った当事業について報告する。

今後のスケジュール 現地への設置が3月13日(金)、建築確認の完了検査が翌週16日(月)、地元説明会が24日(火)となっている。供用開始は説明会后となる。地元説明は地元関係者等を招いて現地での説明会を行う。長藤区長、塩供総代、地元議員として伊藤議員と宮原議員、市からは総合支所長、生活環境課、危機管理課の担当者が出席する。既存の公衆トイレの取り扱いについて担当は生活環境課になるが、9月の協議会においてコンテナトイレ設置後に取り壊しができるよう財源を検討している旨説明をしたが、その後の検討の結果、来年度中に解体撤去する予定となったとの報告があった。既存のトイレは3月24日以降閉鎖する。

報告事項その他 なし

5 その他

(ア) 伊那市高遠町協働のまちづくり交付金事業について(総務課 課長補佐)

先月末の市報に回覧文書で募集を行っている。募集期間は3月19日から4月2日となっている。予算額は本年度と同額148万円ほどを見込んでいる。

全体を通して質問等

(委員) 高遠北小PTAよりお礼の報告をさせていただく。今年度スクールバスのことを協議会で扱ってもらったおかげで、スクールバスのことをみんなで考えようということになった。今年1月にスクールバス4者安心会議というのを設けて、バス会社、行政、学校の先生、保護者の4者で集まって誰にとっても安心という状態を作っていこう、色々な立場から安全のためにどうしたらよ

いかという話し合いの場を持つことができてよかった。地域協議会で扱ってもらったおかげで皆の話題にしていこうという雰囲気になれたこと感謝申し上げます。

(会長) 事務局から何かあれば。

(総務課 主査) 旅費の支払いについて、片道 2km 以上の方については旅費を支払う。提出いただいた口座に振り込む形になるのでお願いしたい。本年度の会場がやますと総合支所の 2 カ所だったため、それぞれの距離で計算をしている。

(会長) 最後に支所長からあいさつをお願いしたい。

(総合支所長) 本日の会議をもって今期の地域協議会は最後となる。委員の皆様には 2 年間の任期中、高遠町の地域づくりについてそれぞれの立場で熱心に議論いただき、貴重な意見、ご提案をお寄せいただいたことに対しお礼を申し上げます。高遠町は長い歴史や文化、美しい自然に恵まれた地域であり、今年合併 20 周年を迎える。こうした地域の魅力を大切に守りながら次の世代へつないでいくことが一層大切だと感じている。任期は一区切りとなるが、今後も高遠町地域を大切に思う仲間として引き続きお力添えをいただければありがたい。皆様のこれまでのご尽力に心より感謝申し上げますと共に、これからも高遠町の地域づくりを共に支えていただければありがたく思う。皆様のご健勝と益々のご活躍をご祈念申し上げお礼の挨拶とさせていただきます。

7 閉会 (午後 7 時 39 分) 副会長